

止揚学園の福井達雨先生が 遺愛の修養会に来られました！！

1月7日午後～8日までの1日半、遺愛では修養会がもたれました。今年の講師は、滋賀県にある知的障がい者の施設『止揚学園』のリーダー福井達雨先生と保母の西竹めぐみさんでした。福井先生は遺愛の修養会は4度目ですし、西竹さんも2度目です。前回もお二人には素晴らしい感動的なお話と美しい歌とピアノを聞かせていただいていたいました。今回も本当に良かったです。修養会では、最後に希望の生徒対象に「講師を囲む会」が開かれますが、今年は過去最高90名以上の生徒がライト館301に集まり、とても盛会でした。

福井先生とお話しのなかで、とても興味深かったのは「自立」をめぐっての先生のお考えでした。初等・中等教育の大切な目標は「自立」です。保護者から「自立」して、精神的にも経済的にも社会のなかで生活できるようになることが目標です。しかし知的に障がいをもっている方々が、健常者と全く同じ意味で「自立」するのは難しいことです。でも福井先生は、知的障がい者にも「自立」はあるといいます。その「自立」とは、他者のことを思いやる心をもつことだと言っていました。どんなに重い知的障がいをもっている、他者を思いやれるようになれる、「自立」できると言います。他者を思いやるとは、自分がされて嫌だなと思うことは他の人にはしないこと、自分がされたら嬉しいなと思うことを他の人にすることです。愛です。自立するとは隣人を愛することができるようになることです。笑顔で「おはよう」という挨拶や心をこめて「ありがとう」という感謝も思いやりの一つです。このような意味の「自立」は、実は私たちにとってもとても大切なものだと思います。2013年11月9日

